

## 宮崎県

事業所管：宮崎県農政水産部農業流通ブランド課  
地域事務局：公益財団法人宮崎県産業振興機構

### ● 子供からお年寄りまで楽しめる惣菜で高齢化が進むアジア市場開拓

素材供給型産地構造や大消費地から遠隔地にあるため収益率が低く、更にコロナ禍対応等流通リスクに強いビジネス構築も課題となっている。このためポストコロナ対応商品や新物流サービスの開発により課題解決を図る。

LFP パートナー数

190 社・団体  
(2023.3 現在)



ふわり點心シリーズのシュウマイ。  
(注) 写真と体制は「ふわり點心開発プロジェクト」について。

### 新たなビジネスの価値

- 咀嚼能力が低下した高齢者も健常者も一緒に同じメニューを楽しめる惣菜の提供を通じて、ユニバーサルな食卓を提供する。
- 国内市場だけでなく、急激な高齢化が予測されるアジア市場の需要を取り込むことで、宮崎県産食材の消費拡大に寄与する。

### プラットフォームの体制

- 多くの事業者が主体的に取り組めるよう、6つの分科会「輸出」、「有機」、「未利用資源・食品ロス」、「保存食」、「香り」、「観光・土産」部会を設置。
- 事務局組織の相談窓口機能を活かして、事業者の相談に応じる体制を構築。

農林水産業者、食品加工事業者、流通事業者、飲食業者、物流業社、商社、観光事業者、不動産業者、広告業者、デザイナー、金融機関、コンサルタントなど。

### 新しい取組・仕組みづくり

- ただ食べやすいだけでなく、家族全員で美味しく食べられるユニバーサルな商品。
- 世界をターゲットとするためSDGsを念頭に未利用魚やフードロスが課題だった肉等利用。
- 小麦粉に代えて県産米粉を原料に使用することで、国産原料への切替と消費拡大に貢献。

### ビジネス創出のプロセス

- アイデアをもつ事業者のプランを磨くため、6月の研修会でワークショップ形式で意見交換。
- お互いのプロジェクトの進捗確認と情報交換のため、12月に中間報告会を開催。
- 次年度のプロジェクトの芽の発掘と、さらなるブラッシュアップのため、2月にプロジェクトの卵発表会を開催。
- 間接補助事業のほか、ホエイの有効活用や未利用魚による商品化など、6つのビジネスを創出。



ふわり天心プロジェクトのメンバー。